

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	区民会館費	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木	
		担当者名	森田	内線	2514	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	区民会館管理運営費（01-01-01） 営繕費（計画工事）（01-02-01）					
事務事業の種類	新規事業（25年度 24年度）		建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成	49 年度	根拠法令等	荒川区区民会館条例及び条例施行規則		
終期設定	有 無	年度				
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]				
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]				
	施策	芸術・文化の振興[09-01]				
目的	荒川区民会館を広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。					
対象者等	区民及び一般市民					
内容	名称	荒川区民会館（愛称 サンパール荒川〔昭和56年度区民公募〕）				
	所在地	荒川区荒川1-1-1				
	電話	(3806)6531				
	開館	昭和50年3月28日				
	開館時間	午前9時から午後10時まで（受付は午後8時まで）				
	休館日	年末年始（12月29日から1月3日）				
	構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上6階、塔屋 延床面積10,044.09㎡				
	施設の概要					
		施設名	階	収容人員	面積	備考
		大ホール	1階	1,120席	1161.88㎡	
		小ホール	3階	300席	281.09㎡	移動席
		第1集会室	4階	32名	78.07㎡	洋室
		第2集会室		50名	72.56㎡	洋室。第2、第3集会室は通し使用可能
		第3集会室		50名	84.75㎡	
		第4集会室		40名	89.81㎡	和室
	第5集会室（高砂）	5階	50名	91.60㎡	洋室。高砂・羽衣は通し使用可能	
	第6集会室（羽衣）		50名	99.25㎡		
	第7集会室（末広）		100名	184.34㎡		洋室
	荒川コミュニティカレッジ	6階	-	652.79㎡	社会教育課へ使用承認中。結婚式場、控室、写真室、美容室、衣装室は平成22年8月2日廃止	
	その他	-	-	-	区民ロビー、レストラン、ACC分室、地下駐車場	
経過	昭和50年3月28日	荒川区民会館オープン				
	昭和56年11月1日	愛称：サンパール荒川（区民公募）				
	平成2年4月1日	財団法人荒川区地域振興公社に管理運営を委託				
	平成4年4月1日	改修工事のため休館（同年10月31日まで）				
	平成15年4月1日	荒川区民会館・日暮里サニーホール・ムーブ町屋の3館の舞台機構管理、受付及び機械設備保守委託等の各業務について、一元化して第三者への再委託を行い、大幅な経費削減を図った。				
	平成18年4月1日	指定管理者制度導入によりMKT共同事業体が指定管理業務を受託。毎週月曜日の開館とともに、年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮。				
	平成21年4月1日	指定管理者更新により、引続きMKT共同事業体が指定管理業務を受託。				
	平成22年8月2日	荒川区民会館条例一部改正により、結婚式場と控室を廃止。当該部分を社会教育課へ使用承認し、荒川コミュニティカレッジとして使用開始。				
平成24年4月1日	指定管理者の公募により、引続きMKT共同事業体が指定管理業務を受託。					
平成24年6月1日	荒川区芸術文化振興財団の分室（1-1-1ギャラリー）が開設。					
平成25年5月28日	平成27年度の大改修に向けた設計業務委託を契約。					
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。					
実施方法	（3委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）					
	指定管理者 MKT共同事業体（三菱電機ビルテクノサービス㈱・㈱共立・㈱スペースネットワーク）					
	25年度当初予算	指定管理者委託料 163,857,000円				
	24年度決算	指定管理者委託料 165,260,178円				
	23年度決算	指定管理者委託料 166,957,144円				
舞台機構管理、受付及び機械設備保守等の第三者への再委託を原則認めない。工事、大規模修繕、備品購入は委託から除く。						

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

		(単位：千円)						
予算・決算額等の推移		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	予算額	247,470	215,323	296,910	212,035	206,672	218,946	242,546
	決算額（25年度は見込み）	240,377	208,722	249,455	208,561	203,475	218,607	242,546
	人件費等	5,551	6,353	6,108	8,720	7,453	8,509	
	減価償却費				2,905	2,737	3,324	
	【事務分担量】（％）	65	75	75	100	88	103	
	合計（＋＋）	245,928	215,075	255,563	220,186	213,665	230,440	242,546
	その他（特定財源）	67,700	41,657	17,338	29,001	37,425	9,481	8,761
一般財源	178,228	173,418	238,225	191,185	176,240	220,959	233,785	
実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	大ホール利用回数	451回	431回	463回	445回	475回	446回	460回
	小ホール利用回数	560回	568回	561回	535回	508回	514回	540回
	集会室利用回数	2,625回	2,759回	2,592回	2,792回	2,672回	2,807回	2,940回
	結婚式場利用件数(平成22年8月廃止)	5件	2件	18件	4件			
	利用者数(延べ)	306,870人	313,117人	322,235人	301,824人	345,275人	272,260人	285,900人

節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
報償費	経営診断報酬等	491	-	-	経営診断報酬等	94
需用費	吊物電動ワイヤー交換第2期	5,740	吊物電動ワイヤー交換第3期	9,214	消耗品等	49
委託料	指定管理料等	166,957	指定管理料等	174,551	指定管理料等	168,940
委託料	指定管理料（営繕費）	13,903	指定管理料（修繕費）	13,520	指定管理料（修繕費）	9,291
	消火設備点検等	6,920	23年度収納の前受金	12,076	大規模改修工事設計委託	63,049
	-	-	サンパル在り方基礎調査	3,990	-	-
	-	-	什器処分	97	-	-
備品購入費	備品購入費	4,563	備品購入費	2,103	備品購入費	1,123
負担金補助	公立文化施設協議会	18	-	-	-	-
工事請負費	小ホール音響調整卓改修	4,880	階段クロス交換	1,544	-	-
	-	-	照明操作卓改修	1,512	-	-

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度（見込み）	目標値（26年度）	
標	大ホール貸出し稼働率	50.2%	65.3%	57.6%	57.0%	57.0%	・利用回数 / 利用可能回数 ・25年度は前年並とする。
	小ホール貸出し稼働率	56.9%	62.6%	63.4%	61.0%	63.0%	
	集会室貸出し稼働率	41.4%	43.6%	42.7%	43.0%	45.0%	
	結婚式場貸出し件数(平成22年8月廃止)	4件	(廃止)	-	-	-	

（問題点・課題）	1 施設利用の一層の利用率向上対策 2 施設の老朽化対策（早急に長期修繕計画を作成し、効率的な改修をする時期にきている）
	（実施 22 区 未実施 1 区）

問題点・課題の改善策	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
老朽化対策として、大規模改修工事を設計する	大規模改修工事を実施する
広報活動による新規顧客獲得とリピーターの確保	広報活動による新規顧客獲得とリピーターの確保

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための拠点として設けられた施設であり、優先度は高い。

議会（要旨）状況	トイレの老朽化について（平成25年予算特別委員会）
----------	---------------------------

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	日暮里サニーホール費	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木
		担当者名	渡邊	内線	2514
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	日暮里サニーホール管理運営費（01-01-01）日暮里サニーホール共用部分等修繕（01-01-02）日暮里サニーホール営繕費（計画工事等）（01-02-01）				
事務事業の種類	新規事業（25年度 24年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	元年度	根拠	日暮里サニーホール条例及び条例施行規則	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	芸術・文化の振興[09-01]			
目的	日暮里サニーホールを広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。				
対象者等	区民及び一般市民				
内容	<p>所在地：荒川区東日暮里5-50-5ホテルラングウッド4・5階 電話（3807）3211</p> <p>開館：平成元年2月9日</p> <p>開館時間：午前9時から午後10時まで（受付時間は午後8時まで）</p> <p>休館日：年末年始（12月29日から1月3日まで）</p> <p>規模等：延床面積 2,311.28㎡</p> <p>施設の概要 多目的ホール 収容人員500名（フラット時）/面積404㎡ コートサロン 収容人員100名（フラット時）/面積113㎡ 会議室 第1会議室 収容人員24名（面積57㎡） 第2会議室 収容人員12名（面積25㎡） 第3会議室 収容人員12名（面積28㎡） 第2,3会議室は通し使用可能</p>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年 2月 9日 日暮里サニーホールオープン（財団法人荒川区地域振興公社に管理運営を委託） ・平成15年 4月 1日 荒川区民会館・日暮里サニーホール・ムーブ町屋の3館の舞台機構管理、受付及び機械設備保守等の各業務について、一元化して第三者への再委託を行い、大幅な経費の削減を図った。 ・平成16年11月30日（財）中央労働福祉センター解散。㈱三菱UFJ信託銀行が区と覚書を取交し、財団の業務を引継ぐ。 ・平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入により㈱シービー・シー・エリートが指定管理業務を受託（平成23年度まで）。 <li style="padding-left: 20px;">年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮。 ・平成21年 4月 1日 指定管理者更新により、引続き㈱シービー・シー・エリートが指定管理業務を受託。 ・平成24年 4月 1日 指定管理者の公募により、日暮里サニーホールさくらグループが指定管理業務を受託。 				
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 指定管理者名 日暮里サニーホールさくらグループ（（株）コングレ、（株）シアターサポート（平成24年5月5日から（株）スペースネットワークに社名変更）、（株）共立） 25年度予算 指定管理者委託料43,047,000円 24年度実績 指定管理者委託料42,728,000円 23年度実績 指定管理者委託料 8,946,000円 舞台機構管理、受付及び機械設備保守等の第三者への再委託を原則認めない。工事、大規模修繕、備品購入は委託から除く。				

予 算・決 算 額 等 の 推 移	（単位：千円）							
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額	69,253	95,998	110,748	66,297	71,002	79,980	106,351	
決算額	67,881	92,148	97,066	64,303	57,370	73,851	106,351	
人件費等	3,416	3,812	4,072	4,796	4,658	4,874		
減価償却費				1,598	1,711	1,904		
【事務分担量】（%）	40	45	50	55	55	59		
合計（+ +）	71,297	95,960	101,138	69,099	63,739	78,725	106,351	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）	114	122	78	8,710	26,968	9,317	23,553	
一般財源	71,183	95,838	101,060	60,389	36,771	69,408	82,798	

事務事業分析シート（平成25年度）

実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	多目的ホール利用回数	601回	560回	629回	599回	620回	641回	630回
	コンサートサロン利用回数	852回	855回	823回	774回	790回	880回	820回
	会議室利用回数	4,007回	3,989回	4,085回	4,081回	4,205回	3,993回	4,100回
	利用者数(延べ)	136,511人	140,478人	148,021人	136,086人	137,704人	146,238人	148,000人

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	指定管理料他	15,935	指定管理料他	59,861	指定管理料他	50,432
需用費	消耗品	0	-	-	消耗品	45	
工事請負費	空調機改修	6,300	-	-	ロビー床天井改修	12,176	
	バックヤード柵設置	746			コンサートサロン床面張替	3,787	
備品購入費	ロッカー他	1,567	音響照明機器他	2,186	一文字幕他	620	
負担金補助	共有部分等計画修繕	2,625	共有部分等計画修繕	7,219	共有部分等計画修繕	33,827	
	駐車場負担金等	3,888	駐車場負担金等	4,585	駐車場負担金等	5,464	
	ラングウッド分担金	26,309					

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
標	ホール貸出し稼働率	68.8%	66.5%	64.5%	70.0%	75.0%	利用回数/利用可能回数
	サロン貸出し稼働率	83.7%	82.2%	86.7%	85.0%	90.0%	
	会議室貸出し稼働率	76.3%	78.9%	74.3%	79.0%	80.0%	

（問題点・課題分析）	<p>開館から24年を経て、壁・床面・天井等の破損や汚れ等、施設全体の老朽化が目立ち始めている。ホテルに併設された施設であること等特殊な事情を勘案した計画的な修繕が必要である。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
引き続き、ホテルラングウッドとの管理運営上の調整を密にする体制を整えていく。	引き続き、ホテルラングウッドとの管理運営上の調整を密にする体制を整えていく。
平成24年度の実績や利用者と指定管理者の意見を基に課題の把握と改善を行うことで、稼働率とサービスの向上を目指す。	引き続き、過去の実績や利用者と指定管理者の意見を基に課題の把握と改善を行うことで、稼働率とサービスの更なる向上を目指す。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための拠点として設けられた施設であり、優先度は高い。

況（要旨）	駐輪場対策について（平成25年予算特別委員会）
-------	-------------------------

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	ムーブ町屋費	部課名	区民生活部区民課	課長名	正木
		担当者名	渡邊	内線	2514
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	ムーブ町屋管理運営費（01-01-01）ムーブ町屋営繕費（計画工事等）（01-02-01）				
事務事業の種類	新規事業（25年度 24年度）	建設事業		それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成 8年度	根拠	荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則		
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	芸術・文化の振興[09-01]			
目的	ムーブ町屋を広く区民の利用に供するとともに、利用者に対するサービス向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。				
対象者等	区民及び一般市民				
内容	<p>所在地：荒川区荒川7 50 9 センターまちや3・4階 電話：（3819）7761 開館時間：午前9時から午後10時まで（受付時間は午後8時） 休館日：年末年始（12月29日から1月3日） 開館：平成8年6月1日 規模等：延床面積2797.17㎡</p> <p>施設の概要 多目的ホール 収容人員296席/面積228㎡（舞台、電動式椅子を収納した場合） ハビテーション 収容人員70席/面積59㎡/スクリーン大きさ3.4m×1.9m 多目的展示室 収容人員28名（椅子のみ使用時は40名）/面積70㎡ スタジオ 収容人員10名程度/面積51㎡ 企画展示コーナー オープンスペース/面積145㎡（4階全施設を使用する場合185㎡） 壁面(コの字型)：高さ3.3m×幅37.5m 天吊り移動式の展示版：2.5m四方</p> <p>その他 住民票・印鑑登録証明書自動交付機（平成8年6月開設） チケットぴあスポット（平成18年3月閉鎖）</p>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成8年6月1日 ムーブ町屋オープン（財団法人荒川区地域振興公社に管理運営を委託） 平成15年4月1日 荒川区民会館・日暮里サニーホール・ムーブ町屋の舞台機構管理、受付及び機械設備保守等を一元化して第三者への再委託を行い、大幅な経費削減を図った。 平成17年10月3日 JOBコーナー町屋開設。 平成18年4月1日 指定管理者制度導入により(株)シビ-シ-ミッドが指定管理業務を受託（平成23年度まで）。年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮。 平成21年4月1日 指定管理者更新により、引続き(株)シビ-シ-ミッドが指定管理業務を受託。 平成24年4月1日 指定管理者の公募により、ムーブ町屋さくらグループが指定管理業務を受託。就労支援課の執務スペースを設置。 平成25年4月1日 くつろぎ広場の一部をJOBコーナー町屋の若者向け相談スペースとして使用開始。 				
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 指定管理者名 ムーブ町屋さくらグループ（（株）コングレ、（株）シアターサポート（平成24年5月5日から（株）スペースネットワークに社名変更）、（株）共立） 25年度予算 指定管理者委託料32,235,000円 24年度実績 指定管理者委託料32,235,000円 23年度実績 指定管理者委託料21,233,000円 舞台機構管理、受付及び機械設備保守等の各業務の再委託を原則認めない。工事、大規模修繕、備品購入は委託から除く。				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		95,390	94,115	96,321	83,318	77,449	102,326	73,713
決算額		91,759	92,676	93,939	80,523	72,301	99,984	73,713
人件費等		2,989	3,812	3,665	4,360	4,235	4,709	
減価償却費					1,453	1,555	1,839	
【事務分担当】(%)		35	45	45	50	50	57	
合計(+ +)		94,748	96,488	97,604	86,336	76,536	104,693	73,713
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)		1,628	301	62	4,062	10,219	58	51
一般財源		93,120	96,187	97,542	82,274	66,317	104,635	73,662

事務事業分析シート（平成25年度）

実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	多目的ホール利用回数	554回	636回	678回	625回	652回	592回	640回
	ハイビジョンルーム利用回数	445回	391回	389回	439回	424回	433回	450回
	多目的展示室利用回数	608回	521回	589回	628回	578回	586回	640回
	スタジオ利用回数	706回	661回	665回	692回	695回	657回	700回
	企画展示コーナー利用回数	615回	522回	518回	486回	506回	394回	500回
	利用者数（延べ）	125,015人	123,012人	121,134人	105,727人	113,014人	111,241人	110,000人

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
内訳	委託料	指定管理料等	22,538	指定管理料等	47,003	指定管理料等	34,334
	需用費	消耗品	0	消耗品	409	消耗品	45
	備品購入費	袖幕他	1,866	音響照明機器他	1,294	クセノンピンスポット整流器他	1,932
	負担金補助	管理規約に基づく分担金他	44,839	管理規約に基づく分担金他	35,493	管理規約に基づく分担金他	37,402
	工事請負費	身障者用トイレ自動ドア設置他	3,058	内部壁改修工事	6,940		
				舞台操作盤交換	8,845		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度（見込み）	目標値（26年度）	
標	多目的ホール稼働率	63.6%	67.4%	67.9%	68.0%	75.0%	利用回数/利用可能回数
	ハイビジョンルーム稼働率	42.6%	41.8%	47.1%	45.0%	50.0%	
	多目的展示室稼働率	60.2%	56.6%	63.8%	58.0%	60.0%	
	スタジオ稼働率	66.7%	67.1%	71.4%	68.0%	70.0%	
	企画展示コーナー稼働率	47.3%	51.3%	43.0%	55.0%	60.0%	

（問題点・課題）	<p>ハイビジョンルームについて、現在、ハイビジョンプロジェクターを使用している利用は無く、会議室を主とした利用がほとんどであるが、ハイビジョンルームという名称が施設利用に制限を与えている。また、プロジェクターが天井から下がっていることで利用者に圧迫感を与えており、壁面の破損や塗装の剥がれが美観を損なっている。施設名称の変更も視野に入れた施設の全面改修が、施設の有効活用と稼働率の向上のために必要である。</p> <p>荒川区ムーブ町屋の施設は、会議室の場所としての利用だけでなく、附帯の機器を含めた利用が多いために、それらの機器の保守管理が不可欠である。</p>
	<p>（実施 22 区 未実施 区）</p>

問題点・課題の改善策	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
<p>平成24年度の実績や利用者や指定管理者の意見を基に課題の把握と改善を行うことで、稼働率とサービスの更なる向上を目指す。</p>	<p>引き続き、過去の実績や利用者や指定管理者の意見を基に課題の把握と改善を行うことで、稼働率とサービスの更なる向上を目指す。</p>
<p>指定管理者に日常点検及び保守点検の徹底を指示すると同時に、指定管理者の意見を参考にして施設に必要な附帯機器の精査を行う。</p>	<p>指定管理者に日常点検及び保守点検の徹底を指示すると同時に、指定管理者の意見を参考にして施設に必要な附帯機器の精査を行う。</p>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	<p>区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための拠点として設けられた施設であり、優先度は高い。</p>

況議（要質問状）	
----------	--

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	文化振興事務費	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
		担当者名	齊藤	内線	2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	文化振興事務費（01-01-01）				
事務事業の種類	新規事業（25年度 24年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	63 年度	根拠	西日暮里ギャラリー運営要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区芸術文化事業共催要綱	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	芸術・文化の振興[09-01]			
目的	区民が芸術文化に触れる機会の拡充を図るとともに、地域の文化資源の発掘と積極的な情報発信を進める。				
対象者等	一般				
内容	<p>太平洋展荒川区長賞：一般社団法人太平洋美術会が主催する太平洋展で優秀な作品2点に区長賞を授与する。</p> <p>西日暮里ギャラリー：西日暮里駅高架下の6ヶ所の展示スペースを展示希望者に貸出す。最長2週間。</p> <p>ディスカバーあらかわ「区内の風景・風物展」：一般公募した区内の風景・風物をテーマとした作品を一堂に展示し、優秀な作品に荒川区長賞(1点)、荒川区長奨励賞(3点)、社団法人太平洋美術会会長賞(2点)、荒川区美術連盟理事長賞(2点)を授与。受賞作品は、展覧会終了後区役所1階ロビーの展示ケースにて、2週間展示する。</p> <p>1階ロビー展示：本庁舎1階玄関ロビーの展示ケース及びパネルにて交流都市の紹介展示を行う。</p> <p>芸術文化振興プラン：有識者や関係団体代表者等により構成する「荒川区芸術文化振興プランの策定に関する懇談会」及び「策定委員会」を設置し、プランの策定を行う。</p>				
経過	<p>太平洋展荒川区長賞：平成9年度から、文部科学大臣奨励賞他の賞と共に荒川区長賞を授与している。</p> <p>西日暮里ギャラリー：平成9年度に道路課が高架下の修景事業として設置。維持管理は道路課、運営は文化交流推進課。</p> <p>ディスカバーあらかわ：平成7年度より太平洋美術会の協力で実施。17年度から荒川区美術連盟の協力も得て一般公募形式とし、広く作品の募集を行っている。平成19年度からは、絵画以外に版画・染織・彫刻の出品も可とした。</p> <p>1階ロビー展示ケース：平成19年度に交流都市紹介スペースとして設置し、交流都市だけでなく区内で開催されている文化事業や事業の紹介にも活用している。</p> <p>芸術文化振興プラン：「幸福実感都市 あらかわ」を芸術文化の側面から形成していくため、平成21年6月に策定。</p>				
必要性	芸術文化活動は、人間の内面に対する探求を行うものである。芸術を鑑賞したり、自ら芸術文化活動を行うことは、区民の生活をより豊かにすることを可能にするものである。こうした地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>太平洋展荒川区長賞：太平洋展の初日に六本木の国立新美術館で授与。西日暮里ギャラリー：申請を受け、要綱に基づき内容を審査し、承認する。6ヶ月前から受付、展示期間は原則2週間。ディスカバーあらかわ：一般公募した区内の風景画等を一堂に展示し優秀な作品に賞を授与。芸術文化振興プラン：懇談会の意見を踏まえ、策定委員会において計画（案）の検討を行い、策定する。</p>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
予算額	4,488	4,477	4,565	4,638	4,157	4,846	7,140	
決算額（25年度は見込み）	4,339	4,297	3,826	4,128	3,804	4,532	7,140	
人件費等	2,135	1,779	2,036	2,180	2,964	2,478		
減価償却費				726	1,089	968		
【事務分担当量】（%）	25	21	25	25	35	30		
合計（+ +）	6,474	6,076	5,862	7,034	7,857	7,978	7,140	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	6,474	6,076	5,862	7,034	7,857	4,399	7,140	
実績の推移	事項名							
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
太平洋展来場者数	14,009	18,037	20,382	18,269	22,824	19,513	21,412	
太平洋展出品作品数	1,011	954	992	1,004	976	944	941	
西日暮里ギャラリー展示件数	16	8	17	11	20	20		
ディスカバーあらかわ応募点数	100	97	121	99	117	125		

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	緑と彫刻の街づくり事業	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
		担当者名	松井	内線	2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	緑と彫刻の街づくり事業費（01-04-01）				
事務事業の種類	新規事業	（ 25年度 24年度 ）		建設事業	それ以外の継続事業
開始年度	昭和	平成	60年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	芸術・文化の振興[09-01]			
目的	緑の多い広場、公園やゆったりとした歩道など、区民の多くが憩い、集う場所に彫刻を設置し、新しい景観、ゆとりと潤いの空間を区民に提供する魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。				
対象者等	区民及び区外からの訪問者				
内容	<p>生活にゆとりとやすらぎを創りだし、住み続けたい街、魅力ある街づくりの一環として彫刻を設置し、適切に管理するものである。</p> <p>< 設置場所の基本的な考え方 ></p> <p>（ 1 ） 区民や区外の人が多く利用し、区のシンボルとなる場所（本庁舎前、主要駅、多数の区民の集う拠点的施設、大規模公園）</p> <p>（ 2 ） 区民が多く集まる場所（公園、児童遊園、グリーンスポット、区民施設等）</p> <p>（ 3 ） 特定区民の利用する場所（学校、校外教育施設等）</p> <p>設置場所、設置施設に適したシンボル性や親しみを感じていただけるものを設置してきた経緯がある。</p> <p>平成15年から平成18年は新規の設置は行わず、清掃・メンテナンス及び修繕のみ行ってきたが、平成19年から東京藝術大学卒業・修了制作作品立体部門に荒川区長賞を創設し、受賞作品は寄贈を受け、区内に設置している。（藝大区長賞については22年度から「東京藝術大学との連携事業」へ組替。）</p>				
経過	<p>「緑と彫刻の街づくり事業」として昭和60年度から公共の広場、公園、道路などに計77体（うち寄贈31体）が設置されている。また、平成15年度に、日暮里・舎人線建設工事に伴い、日暮里駅前道灌広場の太田道灌像と西日暮里5丁目交差点の飛翔像の移設を行った。平成19年度からは、東京藝術大学卒業・修了制作の彫刻作品を対象に荒川区長賞を授与し、平成24年度までに12体の受賞作品を区内に設置している。平成23年度彫刻マップをHP上にアップ。</p> <p>21年度から東京都芸術大学卒業者グループ（A+）との連携事業関連予算を、22年度から荒川区長賞関連予算を「東京藝術大学との連携事業」へ組替。</p>				
必要性	彫刻は、街にゆとりとうるおいを創出し、地域文化の向上と区のイメージアップを図るため設置してきた。「豊かさの実感できる社会」の創造が求められるなか、設置した彫刻が区民に親しまれるよう適切に管理していくことが重要である。				
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
予算額	7,386	7,904	7,456	3,763	4,691	1,475	1,300	
決算額（25年度は見込み）	4,263	7,904	5,658	3,667	4,447	1,397	1,300	
人件費等	1,708	2,541	4,072	4,360	1,270	413		
減価償却費				1,453	467	161		
【事務分担量】（%）	20	30	50	50	15	5		
合計（ + + ）	5,971	10,445	9,730	9,480	6,184	1,971	1,300	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	5,971	10,445	9,730	9,480	6,184	1,497	1,300	
実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	彫刻の清掃メンテナンス（体）	17	17	47	43	44	62	64
	彫刻の修繕数（体）	2	2	3	3	4	2	
	区内の彫刻数（体）	58	58	63	69	74	77	77
	設置数	3	3	2	3	5	2	

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度		平成25年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
	消耗品費	消耗品	0	消耗品	0	消耗品	20
	物品修繕費	彫刻等小破損修繕	801	彫刻等破損修繕	300	彫刻等破損修繕	300
	清掃委託	彫刻清掃メンテナンス	436	彫刻清掃メンテナンス	1,097	彫刻清掃メンテナンス	980
	工事請負費	彫刻設置工事	0	彫刻設置工事	0	彫刻設置工事	
	備品購入費	平野千里氏木彫、展示ケース	3,210				

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 <small>（見込み）</small>	目標値 <small>（26年度）</small>	
	区内の彫刻数（体）	69	74	77	79	81	区民が身近に鑑賞できる彫刻の数

（問題点・課題）	<p>屋外にある彫刻等については設置後十数年経過したため、今後、腐食や変色、台座部の損傷、亀裂等に対し、専門的見地からの補修の可否判断や安全性のため定期的な保守点検管理が必要である。 彫刻作品の設置場所の確保について、庁内において検討・調整を行う必要がある。 身近な芸術作品として区民に親しんでもらえるよう、区内に設置している彫刻作品のPRを強化する。</p>
他区の実況	（実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策検討	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
定期的な見回りを実施し、いたずら等による汚れや破損を早期に発見し、安全性を確保する。	補修の必要性の高いものについて調査を行い、補修計画の作成について検討する。
彫刻作品を区民に身近な場所に設置し、芸術文化を身近に感じ・触れてもらうため、区内施設の改修の際には、その機会を捉えるなど設置場所の確保に向けた検討を行う。	街づくりや地域コミュニティづくりのきっかけとなるような取り組みについて検討を行い、設置場所の確保と拡充を図っていく。
彫刻作品について、ACCが発行する情報誌に掲載するなど、設置場所や作品紹介等を積極的に行う。	区民にわかりやすい、手に取りやすい情報提供の方法について検討を継続する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	芸大との連携も含め新たな視点での彫刻設置を推進する。

議決要旨	<p>彫刻の設置について、区の財産としてどう活用するかという視点から集積効果も考えて検討してほしい。（14年決特） 彫刻マップを作成し、区内外に彫刻の存在をアピールするべき。（19年1定）</p>
------	--

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	音楽のまちづくり推進事業	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
		担当者名	伊藤	内線	2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	音楽のまちづくり推進事業費（01-06-01）				
事務事業の種類	新規事業（25年度 24年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 61 年度	根拠	東京荒川少年少女合唱隊補助金交付要綱		
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	芸術・文化の振興[09-01]			
目的	音楽を中心とする地域文化の振興を図り、区の芸術文化の向上に寄与することを目的とする。区に本拠地を置く東京荒川少年少女合唱隊（以下「合唱隊」）は、合唱活動を通じての荒川区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成に対する貢献は大きい。そのため、区が合唱隊の活動を支援するために補助金を交付することで、荒川区の文化振興を図る。				
対象者等	東京荒川少年少女合唱隊 代表：大村 光彦 指揮者：米谷 毅彦 団員数：34名（平成25年4月現在）				
内容	<p>合唱隊への補助金の支出 合唱隊の活動に要する経費で、合唱隊が計画及び予算を決定する事業について、区長が認めたものを補助対象事業とする。 区事業における合唱隊による演奏 区内での公演 平成15年度～18年度：区役所玄関ロビーで年2回ミニコンサートを開催。 平成17年度～：新年祝賀式に出演。 平成22年度～：クリスマスツリー点灯式（ハッピートイズプロジェクトJR日暮里駅コンコース） このほか、川の手荒川まつりでの演奏、済州市友好交流記念歓迎レセプションで合唱を披露。 あらかわキャラバン事業 平成22年度～：開始 詳細は「あらかわキャラバン事業」を参照</p> <p>参考 合唱隊の活動状況 (1)他部署等との連携事業 A C C：定期演奏会の開催（共催事業）。40周年記念コンサートへの補助。 広報課：平成17年度に、創立40周年記念のため記録ビデオ「ここで唄いあげた日々 東京荒川少年少女合唱隊40周年、そして未来へ」を作成。 (2)その他の活動 チェルノブイリ25周年救援キャンペーンチャリティーコンサート、ウィーン演奏会 ほっとファミリー体験発表会 等</p>				
経過	合唱隊は、昭和40年に創立され、区内外で幅広く活動している。				
必要性	荒川区のイメージアップ、青少年の健全育成や音楽を中心とした地域の芸術文化活動の広がりをもたらすため、全国的に知名度の高い合唱隊の活動を今後も支援していく必要性がある。				
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ） 補助金の支出については、補助要綱に基づき、事業内容を審査の上、補助金額を決定している。				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
予算額	1,852	1,852	1,852	1,915	1,852	1,852	1,852	
決算額（25年度は見込み）	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	
人件費等	1,708	1,609	1,222	1,308	2,117	165		
減価償却費				436	778	65		
【事務分担量】（%）	20	19	15	15	25	2		
合計（ + + ）	3,560	3,461	3,074	3,596	4,747	2,082	1,852	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	3,560	3,461	3,074	3,596	4,747	2,082	1,852	
実績の推移	事項名							
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
演奏回数	20	13	17	18	23	17		
（18年度までは区内での演奏回								

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		負担金補助及び交付金	合唱隊に対する補助金	1,852	合唱隊に対する補助金	1,852	合唱隊に対する補助金

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
標	合唱隊隊員数	37	42	34	34	50	毎年4月現在の隊員数
	定期演奏会来場者数	765	790	756	850	1,000	年2回の定期演奏会の合計
	演奏回数	17	23	17	20	24	18年度までは区内での演奏回数

（問題点・分析・課題）	<p>区の地域文化・芸術文化の向上を進めていくためには、他の音楽団体への支援も検討する必要がある。区による直接的な支援とあわせて、区内企業・団体など、地域と連携した事業展開についても検討を行う必要がある。</p> <p>区の行事への参加など、活動の機会・場所の提供を行うとともに、隊員募集の協力について支援を行っていく必要がある。</p>
	<p>（実施 区 未実施 区）</p>
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
ACCや社会教育課などから団体の情報収集を行う。	補助基準など、補助のしくみづくりについて検討する。
区内企業や地域の団体、ACCと連携した音楽イベントの開催について、検討を行う。関係団体等から意見聴取を行う。	関係団体等からの意見を踏まえ、具体的な事業内容・しくみづくりについて検討する。
演奏場所の提供、合唱隊のPR等において活動を支援する。また、演奏会の機会の幅を広げるため、他部署で行う行事への出演等についても調整を図っていく。	25年度の取り組みを踏まえ、引き続き支援を行う。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
継続	継続	東京荒川少年少女合唱隊に加え、他団体への支援も視野に入れ積極的に推進する。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	日暮里駅前ひろば文化・交流事業	部課名 担当者名	区民生活部文化交流推進課 齊藤	課長名 内線	浅岡 2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	日暮里駅前ひろば文化・交流事業（01-08-01）				
事務事業の種類	新規事業（25年度 24年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 20年度	根拠			
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	芸術・文化の振興[09-01]			
目的	日暮里駅前の再開発事業に伴って作りだされた駅前ひろばの地の利を生かし、交流都市フェア・音楽イベント等を行い、区の芸術文化・地域振興・交流の活性化を図る。				
対象者等	交流都市フェア（例、つくば市、秩父市、福井県、福島市等 区民、来街者） 音楽イベント等（区内外で活動しているアーティスト他 区民、来街者）				
内容	<p>(1)区（文化交流推進課）主催事業 交流都市フェア（郷土芸能・物産展） 交流都市を区民に紹介する物産展の開催、その都市を代表する芸術・文化、民俗芸能等の披露。 日暮里まちづくり実行委員会と連携したイベント 日暮里まちづくり委員会が主催する音楽イベントと区が主催する交流都市フェアを2日間連続で開催。 区内外のアーティストの紹介等を実施。 上記の事業実績 平成20年度：つくば市(1月25日)、ユースフェスタ(3月28日) 平成21年度：秩父市(10月25日)、「荒川区交流都市フェアin日暮里」（交流都市合同）(3月28日) 平成22年度：福島市（8月7日） 前夜祭実施：協力ホテルラングウッド、福島復興支援活動（応援メッセージ作成イベント）（3月27日） 平成23年度：鴨川市(11月12日)、「日暮里春まつり～荒川区交流都市フェア～」(交流都市合同)（3月25日：連日開催「日暮里春まつり～音楽フェス～」24日） 平成24年度：上越市(6月30日)・「日暮里春まつり～荒川区交流都市フェア～」(交流都市合同)（3月24日：連日開催「日暮里春祭り de jazzフェスタ」23日）</p> <p>(2)日暮里まちづくり実行委員会事業 補助金の交付 平成20年度～ 「日暮里フェスティバル駅前コンサート」(10月実施)、「日暮里春まつり」(3月実施：当初は桜まつり)</p> <p>(3)交流都市主催のイベント：福島市(23年10月1・2日/24年9月29・30日)</p>				
経過	20年度開始。21年度から地元の日暮里まちづくり実行委員会への補助金を計上。平成23年度から経費の削減と集客効果を狙って「日暮里春まつり」として、区と連日開催とした。				
必要性	日暮里駅前という地域特性を生かした交流事業は、多くの参加者を見込むことができ、区の芸術文化や都市間交流の振興、地域の活性化につながるため必要性が高い。				
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 出展自治体等と舞台・出展等について調整し、設営・運営については、民間事業者へ委託。				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	予算額		9,511	11,093	9,088	6,924	4,950	5,854
	決算額（25年度は見込み）		7,107	6,337	5,314	5,329	4,799	5,854
	人件費等		2,965	2,850	3,488	3,811	3,139	
	減価償却費				1,136	1,400	1,226	
	【事務分担量】（%）		35	35	40	45	38	
	合計（ + + ）	0	10,072	9,187	9,938	10,540	9,164	5,854
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
一般財源	0	10,072	9,187	9,938	10,540	7,614	5,854	
実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	イベント開催数		2	2	2	3	3	

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
	食料費			出演者賄い	55	出演者賄い	60
	一般需用費	ポスター・チラシ印刷	184	ポスター・チラシ印刷	149	ポスター・チラシ印刷	234
	委託料	広告・イベント委託	4,145	広告・イベント委託	3,595	広告・イベント委託	4,560
	使用料及び賃借料						
	補助金	実行委員会補助金	1,000	実行委員会補助金	1,000	実行委員会補助金	1,000

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
標	区負担の日暮里駅前ひろばの活用数	2	2	2	2	2	イベントの開催数
	自主的な駅前ひろばの活用数	0	1	1	1	1	イベントの開催数

(問題点・課題分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化、観光振興に繋がるような内容を盛り込んでいく必要がある。 ・各交流都市に駅前ひろばの集客力・情報発信力をPRし、自発的なイベントの開催を誘致する。 ・交流都市フェア実施にあたり、開催費用や費用負担のあり方について、引き続き検討を行う。
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
イベント参加者や出展者等にアンケート調査を行い、寄せられた意見を踏まえて、事業内容の充実を図り、次回のイベントに反映する。あわせて、事業の費用対効果について検証を行う。	検証結果を事業に反映し、地域の賑わいを創出するための取り組みを継続して行っていく。
各自治体が主体となって実施するイベントを増やしていくため、区はPRやイベント開催に伴う各種手続き等の支援を積極的に行うとともに、各自治体が必要とする支援内容の把握・対応方法の検討を行う。	調査結果を踏まえ、区が行う支援内容・支援方法を整備し、事業に反映する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	都市間交流の推進、芸術文化の振興により、あわせて地域の活性化を図る。

議(要)旨	
-------	--

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	東京藝術大学との連携事業		部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
			担当者名	齊藤	内線	2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	東京藝術大学との連携事業(01-09-01)					
事務事業の種類	新規事業	(25年度 24年度)	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	21 年度	根拠		
終期設定	有	無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]				
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]				
	施策	芸術・文化の振興[09-01]				
目的	<p>荒川区の隣接地に所在し、我が国の芸術文化の発展に大きな役割を果たしている国立大学法人東京藝術大学と、芸術・文化振興に係る事業について、相互の人材及び物的資源を最大限に生かした緊密な連携のもとに協力して事業を実施し、区における芸術文化の振興に努める。</p> <p>狭い意味での芸術文化振興にとどまることなく、幅広く区行政全体にわたって連携を広げる。</p>					
対象者等	東京藝術大学関係者等					
内容	<p>東京藝術大学卒業生グループ「アブリュス」(以下「A+」という)と協力し、次代の芸術文化活動の担い手となる子どもを育むためのワークショップや講座、公開制作など芸術教育事業の実施、区民の芸術文化活動の振興のため展覧会や制作講座などの企画実施を行い、芸術文化を介した交流の機会を提供する。</p> <p>19年度から、東京藝術大学卒業・修了予定者が制作する彫刻作品を対象に荒川区長賞を授与し、受賞作品を区内に設置している。(22年度より「緑と彫刻の街づくり事業」から本事業に組替)</p> <p>22年度・24年度にA+に委託して地域と協力し壁画制作を実施。</p>					
経過	<p>平成19年度：東京藝術大学校舎の耐震工実施に伴い、リサイクルセンターの使用を許可（7月～20年1月） A+へ使用許可開始（3月～21年3月） 教授、助手、大学院生らによる区立小学校児童を対象とした彫刻教室開催（12月）</p> <p>平成20年度：A+企画展開催「A+A」（7月）、ピンホールカメラ教室開催（8月） 「国立大学法人東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携に係る合意書」締結（12月） 演劇ワークショップ発表会「怪獣のパラードをモウイチド」（A+企画・協力/3月）</p> <p>平成21年度：水道局旧工業用水道事務所の一部をA+が活動拠点として使用（4月～24年8月） オリジナル銀メダル制作教室（8月）、デッサン講座（1月）、風景画教室・カバンワークショップの開催（3月）</p> <p>平成22年度：常磐線第2三ノ輪ガード壁画制作（9～12月） 実施塑像制作教室（6月）、絞り染め教室（8月）、デッサン教室（11月）、保育園ワークショップの開催（1月）</p> <p>平成23年度：デッサン講座（6月）、アートセラピー（7月）、絞り染め教室（8月）、水辺事業（11月）、花の木ひろば館ワークショップ（11～3月）、保育園ワークショップ（1～2月）</p> <p>平成24年度：東日暮里第1・第2辻元ガード間壁画制作（6月～10月） 3歳までのアートプログラム（7～12月）、小学生のための体感ワークショップ（7～12月）、スタンプ染め教室（8月）、アートセラピー（8月）、水辺事業（10月）、保育園ワークショップ（1～2月）</p>					
必要性	区民が身近なところで、質の高い芸術作品や芸術家に触れる機会を創出することは、区民の自主的な文化活動の促進につながるため、必要性が高い。					
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)					

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
予算額			20,713	12,646	9,035	9,602	6,539	
決算額(25年度は見込み)			5,084	11,525	8,222	8,569	6,539	
人件費等			3,420	5,232	4,065	5,370		
減価償却費				1,743	1,493	2,098		
【事務分担量】(%)			42	60	48	65		
合計(+ +)	0	0	8,504	18,500	13,780	16,037	6,539	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)			152	291	385	306		
一般財源	0	0	8,352	18,209	13,395	8,575	6,539	
実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
実施事業数				4	5	6	6	
東京藝術大学卒業修了制作品数		2	2	2	2	2	2	

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,229	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,272	奨学金、ワークショップ講師等謝礼
需用費	一般需用費	0	一般需用費	4	一般需用費	60	
役務費	筆耕料、保険料	0	筆耕料、運搬費	6	筆耕料、運搬費	7	
委託料	ワークショップ等事業実施委託	776	ワークショップ等事業実施委託	4,239	ワークショップ等事業実施委託	4,280	
使用料及び賃借料	賃借料、芸文施設リース料	3,289	賃借料	1,595	賃借料	0	
工事請負費	卒業作品設置工事	1,543	卒業作品設置工事	0	卒業作品設置工事	800	
備品購入費			展示ケース購入費	231			
負担金補助及び交付金	創作活動拠点（光熱水費）	385	創作活動拠点（光熱水費）	222	創作活動拠点（光熱水費）	0	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
標	実施事業数	5	6	7	8	6	講座・教室等の開催予定数
	事業への参加人数	100	365	527	550	600	事業への参加者数
	事業実施のべ回数	11	17	28	37	40	

（問題点・課題）	<p>ワークショップの内容の充実を図っていく必要がある。</p> <p>藝大区長賞作品の設置場所の確保について、庁内において検討・調整を行う必要がある。 「03-02-05 緑と彫刻の街づくり事業」における問題点・課題の再掲</p>
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討		
	平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
	新たな講座として、中学生向けワークショップを実施。	中学生ワークショップの実施効果を踏まえた、事業内容の検討を行い、事業に反映する。
	幅広い内容の講座を実施するため、新たな講師の選定について検討を行う。	藝大区長賞の受賞者など、広く講師を選任し、講座の内容を充実させる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	藝大との連携により、芸術家の活動を支援するとともに、区民に身近な場所で質の高い芸術作品・芸術家と接する機会を提供していく。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 補助	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
		担当者名	伊藤	内線	2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	財団職員人件費（01-01-01）、財団運営費（01-02-01）				
事務事業の種類	新規事業（25年度 24年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	63 年度	根拠	地方自治法第232の2、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団に対する助成等に関する条例	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価 事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	芸術・文化の振興[09-01]			
目的	公共性と収益性のある芸術文化のための公益法人を育成することにより、事業の充実や新たな展開をはかり区民サービスを充実させる。あわせて、将来的に区財政の負担軽減を図る。				
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団				
内容	<p>本事業は芸術文化振興財団助成事業のうち、職員人件費及び財団運営に必要な運営費、理事会評議員会に関する経費、財務管理システム経費を補助するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度(4月1日現在) 常勤職員：理事長1、事務局長1（固有）、管理係3、文化事業係3（派遣） ＜派遣職員6、固有職員2、非常勤職員7＞ 運営費：光熱水費、消耗品費、健康診断費、通信運搬費、複写機等賃借料等 理事会評議員会経費：理事会（13人）、評議員会（19人）開催に係る経費 財務管理システム経費：データ回線使用料、システム機器リース経費等 				
経過	<p>平成15年度：荒川遊園の職員は派遣の園長と非常勤6人、ACC3館及び町屋文化センターの職員は共に派遣職員(各2人)を廃止し、委託とした。本部に施設係を新設し、派遣職員2人を配置した。</p> <p>平成16年度：本部3係の派遣職員(うち事業係は固有職員)を1名ずつ減員、荒川遊園に固有職員1人を配置。</p> <p>平成17年度：事務局長を派遣職員から固有職員とする。本部管理係の職員は派遣職員3人のうち1人を固有職員にし、荒川遊園の職員は派遣職員2人に変更。 チケットぴあについて、インターネットによるチケット予約により利用が減少しているため、平成17年度をもって事業廃止。</p> <p>平成18年度：町屋文化センター(所管：社会教育課)及び荒川遊園(所管：公園緑地課)の指定管理者となる。地域振興公社の所管課は区民生活部文化交流推進課とする。</p> <p>平成19年度：局長を派遣職員とする。</p> <p>平成20年度：荒川遊園事業部長を設置。</p> <p>平成21年度：理事長を常勤職員(固有)とし、管理係を1名増員。管理係に遊園安全担当係長を設置。</p> <p>平成22年度：事務局長を固有職員とする。管理係に人材派遣職員を1名採用。</p> <p>平成23年度：理事長と事務局長を兼務とし、管理係の人材派遣職員を1名減。荒川遊園の指定管理を終了(区直営となったため)</p> <p>平成24年度：事務局長を配置し、理事長の兼務を解消。</p>				
必要性	芸術文化事業の実施団体として、その活動を支援していく必要がある。 また、ACCの効率的な運営のため職員体制の確保は不可欠である。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 補助金の交付				

		(単位：千円)							
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
予算・決算額等の推移	予算額	81,146	95,275	116,987	71,606	118,059	13,786	49,257	
	決算額(25年度は見込み)	78,681	94,947	116,804	71,606	80,085	12,007	49,257	
	人件費等	0	170	162	174	423	826		
	減価償却費				58	156	323		
	【事務分担量】(%)	0	2	2	2	5	10		
	合計(+ +)	78,681	95,117	116,966	71,838	80,664	13,156	49,257	
	国(特定財源)								
	都(特定財源)								
	その他(特定財源)								
	一般財源	78,681	95,117	116,966	71,838	80,664	13,156	49,257	
実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
	派遣職員数	6	7	9	8	6	6		
	固有職員数	1	1	2	3	1	2		
	非常勤職員数	4	5	5	13	4	7		
	運営費削減率(17年度(9,043千円)を基準)	30%	24%	22%	26%	1%	32%		

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	補助金	公社職員人件費		71,176	公社職員人件費	5,835	財団職員人件費
補助金	公社運営費		8,909	公社運営費	6,172	財団運営費	7,950

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
標	運営費削減率（％）	26%	1%	32%	12%		17年度(9,043千円)を基準とする

（問題点・課題 指標分析）	<p>・組織の職員数が少なく、職員人件費であるため人事異動（年齢の差異）による影響が大きい。（予算要求は現員現給ベースで行うため、人事異動で年齢差が大きかったり、職員の増減があると過不足が生じるため、人件費補助算定方法の検討が必要である。（11年度、13年度、21年度は流用、20年度は予備費充用にて対応）</p>
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
公益財団法人に移行した2年目であるので、公益財団法人としてのメリットがでるような効果的運営を行う。	友の会制度の見直しの効果など、公益財団法人移行後の検証をし、今後の運営に反映させていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	芸術文化振興の担い手としてのACCへの補助が必要である。ACCの効率的な運営のため、職員体制確保は不可欠である。

議 会 要 旨	
------------------	--

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		補助金	ほっとたうん発行	8,542	ほっとたうん発行	9,300	ほっとたうん発行

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
標	大広告件数	105	120	120	110	130	
	ミニ広告件数	163	127	94	70	140	

（問題点・課題 指標分析）	広告収入の安定的な確保及び経費の効率的執行への努力が必要となる。
	（実施区 未実施区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
魅力ある紙面づくりに努め、広告収入の安定的確保につなげていくとともに、発行事務の効率化を推進する。	魅力ある紙面づくりに努め、広告収入の安定的確保につなげていくとともに、発行事務の効率化を推進する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	区内の芸術文化振興のための情報提供に不可欠な情報誌発行事業である。

議会議事録 （要旨）	
---------------	--

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	芸術文化・地域振興事業（芸術文化振興財団費）	部課名 担当者名	区民生活部文化交流推進課 伊藤	課長名 内線	浅岡 2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	芸術文化・地域振興事業（01-02-03）				
事務事業の種類	新規事業（25年度 24年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	63 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	芸術・文化の振興[09-01]			
目的	サンパール荒川、日暮里サニーホール、ムーブ町屋などの区民ホールで、芸術文化事業を公演することにより、荒川区における芸術文化の振興と区民文化の活性化を図る。				
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（H24.4.1公益財団法人に移行し名称変更）				
内容	<p>地域振興公社事業のうち、芸術文化及び地域の振興にかかわる事業に対する補助である。 [芸術文化・地域振興事業] 荒川区民交響楽団・荒川第九を歌う会の出演による第九演奏会、小泉定弘写真展、都電写真コンテスト等 （その他）</p> <p>21年度 由紀・安田童謡コンサート、松竹大歌舞伎、栄光の歌謡ヒットパレード、オペラ松尾芭蕉、影絵詩劇「野獣、恋のパラード」、竹下ユキシャンソンコンサート、成田雲竹女ファーストコンサート、キエフ・クラシック・バレエ、情熱のフラメンコ 等</p> <p>22年度 子ども映画会、オペラ「小林一茶と七番日記」、吉村昭の世界と「浅草・下町モダン」、栗原利佳・ニコラロッシンコンサート、研ナオコ&野口五郎Special Stage、舞踊集団菊の会公演会、和太鼓「はやと」コンサート、あらかわバイロイト音楽祭 等</p> <p>23年度 クラシックのさんぽみち、お笑い健康講座、JAZZライブinあらかわ、松竹大歌舞伎、青山広志withブルーアイランド楽団、水上バスクルーズ 等</p> <p>24年度 教育施設出前公演、夏休み！子ども文化体験隊、サンパール荒川1-1-1ギャラリー事業、水上バスクルーズ、JAZZライブinARAKAWA、狂言「万作の会」 等</p>				
経過	平成16年度：芸術文化・地域振興事業の補助を交付。 平成21年度：芸術文化自主事業施設使用料補助金を交付（施設使用の際の減免で指定管理者収入に影響が出ないように）し、ACCから各施設に直接使用料を支払う。 平成24年度：公益財団法人に移行し名称変更（H24.4.1）。 区民課にて施設使用料のみ負担（附帯設備はACCの負担）。 ARAKAWA1-1-1 ギャラリー開設（H24.6.1）				
必要性	ACCの最も重要な使命である芸文事業実施のための補助で、優先的な対応が必要である。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 補助金の交付				

		（単位：千円）						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算・決算額等の推移	予算額	16,347	19,347	33,250	33,250	46,196	45,637	45,184
	決算額（25年度は見込み）	12,911	17,116	31,845	30,220	45,196	27,995	45,184
	人件費等	0	85	81	87	423	826	
	減価償却費				29	156	323	
	【事務分担量】（%）	0	1	1	1	5	10	
	合計（+ +）	12,911	17,201	31,926	30,336	45,775	29,144	45,184
	国（特定財源）					1,000		
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	12,911	17,201	31,926	30,336	44,775	45,637	45,184
実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	チケット収入率（%）	65	60	46	42	42	46	
	参加・体験型事業件数	13	10	10	9	11	23	
	芸術文化・地域振興事業来場者数	36,253	38,341	31,333	32,381	41,557	52,108	

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	補助金	芸文・地振事業	26,440	芸文・地振事業	23,254	芸文・地振事業	37,246
	芸文事業施設使用料	18,756	芸文事業施設使用料	4,741	芸文事業施設使用料	7,938	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
標	チケット収入率（％）	42	42	46	40	50	自主事業収入額÷支出額なお、24年度以降支出額には会場費含まず。
	参加・体験型事業件数	9	11	23	19	15	
	芸術文化・地域振興事業来場者数	32,381	41,557	52,108	50,000	45,000	

（問題点・課題）	<p>平成24年度から公益財団法人へと移行し、荒川区の芸術文化振興の中心的担い手として事業の充実を図るほか、区民や団体の活動支援、区の将来を担う子どもたちを中心とした人材育成に貢献する事業を推進する必要がある。</p> <p>平成24年5月にサンパール荒川の2階に設置したACC分室及びギャラリーを区の芸術文化活動活性化の拠点として定着させることが必要である。</p>
他区の実況	（実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策	
平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
人材育成事業として、子どもを対象とする事業の充実を図る。また、区立ホールでの事業と地域商業振興等の連携に取り組む。	新たな荒川区芸術文化振興プランを踏まえ事業の充実を図る。
芸術文化を区民に近づけるため参加型・体験型事業の充実を図る。	新たな荒川区芸術文化振興プランを踏まえ事業の充実を図る。
1-1-1ギャラリーのPR・活用方法について検討を行う。	引き続き1-1-1ギャラリーの活用方法について検討を行い、事業を充実する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
重点的に推進	重点的に推進	ACCの設立趣旨である、荒川区における芸術文化の振興を図り、地域社会の発展と区民生活の向上に資するための事業実施に必要な補助である。

（議会議要旨）	
---------	--